

令和5年度第8回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和5年11月29日(水) 午後3時00分から午後4時45分まで
会 場 クリーンセンターいず2階 会議室
出席者 佐藤雅彦委員、西尾真澄委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員
鈴木洋一教育長
委員及び傍聴人以外の出席者
教育委員会教育部
部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、
社会教育課長 鈴木利明、学校教育課主幹 鈴木森正敏、
学校教育課主査 駒坂たえ子

1 開 会 (鈴木教育長)

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

(1) 前回教育委員会以降の主な行事等

- 10月28日 社会福祉大会(生きいきプラザ)
- 31日 人事管理訪問(修善寺中学校)
- 11月1日 市内校長会
 - 3日～6日 全国中学生都道府県対抗野球大会in伊豆
 - 7日 スポーツ推進委員会
 - 10日 田方地区教育長・校長代表者会
 - 12日 伊豆文学シンポジウム(井上靖と敦煌)
 - 14日～15日 県外視察(東京大学、つくば市立研究学園小学校 他)
 - 16日 田方地区初任者研修会(修善寺東小学校)、県学校保健研究大会(函南町)
 - 17日 県校長会教育研究三島・田方大会(三島市民文化会館)
 - 19日 みんなの運動会(天城ドーム)、修善寺小学校150周年記念行事、平野啓子朗読会(天城会館)
 - 20日 地域支援課指導訪問(修善寺南小学校、修善寺中学校)
 - 22日 静東教育長会(県東部総合庁舎)、臨時市内校長会
 - 23日 青少年健全育成大会(生きいきプラザ)
 - 26日 グリーンコンサート(アクシスかつらぎ)
 - 27日 地域支援課指導訪問(熊坂小学校)
 - 28日 12月議会(初日)
 - 29日 市内校長会、定例教育委員会(クリーンセンターいず)

(2) 市内小中学校の様子について

<児童生徒について>

生徒指導に関すること

問題行動

- ・冗談めいたことや、軽い気持ちの発言を相手が真に受けてしまい、トラブルに発展するような案件があった。
- ・InstagramやLINE等のSNSに関する問題行動の報告が複数件あった。特に中学生の中でSNSに関する問題事案が増えてきている。

不登校

- ・複数の小学校で父母の付き添いや送迎等による登校の報告がある。保護者の負担が大きい、保護者の協力があれば学校に足が向くということはまだ良い傾向である。
- ・中学3年生にも各学校で不登校が数人いるが、進路の希望が決まっている生徒は、各々が目標に向けて頑張っている。通信制の高校の人気の高まっている。
- ・別室登校が増えているが、本人はそこを自分の居場所として捉えて学校に来ているので、学校としては見守っていきたいと考えている。

教職員に関すること

- ・新たに特別休暇を取る教員、特別休暇を取っていた教員の復帰、特別休暇から休職に変わる教員についての報告が各学校からあった。

その他

- ・インフルエンザが流行りだしている。学級閉鎖や学年閉鎖になった学校がある。
- ・別室登校の子が複数人いる学校がある。それぞれ別の部屋を希望する子が多いが、同時に教室を準備するのは難しい状況にある。
- ・校外活動の際に問題行動が出てしまった子に対する学校の対応について苦情があった。
- ・新中学校に向けての部分も含めて、中学校で校則の見直しを生徒主体で進めている。主に靴・靴下、体育着の裾について検討している。市内4校の生徒会で交流する機会を設け、その中で校則について生徒たちに考えてもらう予定である。
- ・「BS フジ」が中学校のジオ学習の授業の撮影を行った。12月23日の21時から放送される予定である。
- ・地域の方々からの要望もあり、中学校の吹奏楽部が様々な場所に出向いて演奏を披露している。
- ・体育の授業中における怪我の報告が複数件あった。

修善寺地区4小学校のアンケートについて

- ・教育長より、修善寺地区のこども園や小学校に通う子の保護者を対象に実施した「修善寺地区4小学校における学校の現状と今後の在り方について伺うアンケート」の結果の概要について報告する。

(3)今後の予定

- 11月30日 地域支援課指導訪問（中伊豆小学校）
12月2日 市町対抗駅伝大会
3日 ふれっぷ水泳大会
8日 地域支援課指導訪問（天城小学校）
11日 コミュニティスクール出前講座
15日 年末交通安全街頭指導
20日 定例教育委員会
21日 人事構想面談
22日 市内小中義務教育学校2学期終業式、SPAC（伊豆の踊子）
28日 仕事納め
- ※12月議会（11月28日～12月19日）
・一般質問（12月4日、5日） ・教育厚生委員会（12月12日）
次回教育委員会予定 12月20日（水） 9時00分～
次々回教育委員会予定 1月29日（月） 14時00分～

4 議事

議案第37号 令和5年度準要保護児童生徒の就学援助資格の認定について

<学校教育課長より>

- ・生活状態が極めて悪いと認められる世帯に該当する別添に記載した1名を新たに準要保護児童生徒として認定する。

上記説明の後、特に異議がなく、承認された。

議案第38号 伊豆市学校部活動在り方検討委員会委員の委嘱について

<学校教育課長より>

- ・先月承認された「伊豆市学校部活動在り方検討委員会設置要綱」に基づき、別紙に記載した方々に委員をお願いしたい。1号委員から5号委員で構成されており、1号委員は「部活動に識見を有する者」、2号委員は「地域のスポーツ団体及び文化団体の代表者」、3号委員は「保護者代表」、4号委員は「学校の教職員代表」、5号委員については「その他教育委員会が必要と認める者」となっている。今回、5号委員については委嘱の予定はない。1～4号委員で合計14名を委嘱したく、任期は1年で今年度は令和6年3月31日までであるが、再任は妨げない。検討委員会においては、まず部活動の現状と今後の部活動の方向性や見通し、適切な部活動の数等を説明し、意見を伺う予定である。その後は、学校が担うことが難しい部活動の内容や子供にとって望ましい方法を模索しながら、委員と地域の方々とが共に検討していく場として学校部活動在り方検討委員会を開催していきたいと考えている。

教育委員：5号委員については、今回は人数が足りているから選出しないのか。

学校教育課長：現状では4号委員までを委嘱し、この後審議を進める中で必要に応じて5号委員も委嘱したいと考えている。

教育委員：名前が挙がっている2号や4号委員は、特定の種目に偏ることなく様々なスポーツに関係する方が選ばれているのか。

社会教育課長：各団体から選出してもらう際に、種目が偏らないようにしてほしいと依頼して選んでいただいている。

統括監：学校の先生は特定の種目について専門性はあるかもしれないが、別の学校に行けば違う部活動の顧問をする可能性がある。今回の教職員代表の2人は各学校の部活動の担当であり、他の部活動のことも見ているということで各学校が選出したと思われる。

教育委員：とりあえず現状の確認と方向性を意見交換して、大まかな方針を決めるということか。

統括監：現状や方向性、見通し等の具体的な部分の手前にいる状況である。

教育部長：現状を鑑みて将来的な見通しを立てるときに、そこに実際に関わる子供と保護者の意見を聞きたい。この先、状況を変えずにいても、おそらく部活動は数が減っていくだけになる。将来的なことを考え、当事者となる中学生の保護者や子供にとっての部活動の在り方がどうなのかという意見が欲しい。

教育委員：部活動の現状を知らない保護者では検討はできないので、これから中学生になるお子さんを持つ保護者でよいのか。

統括監：今回選んだ保護者代表は中学生の兄弟がいる小学生の保護者もいる。

教育委員：今の部活動の様子を知っている保護者を委員に選んでいるということなので、これからどうしたいかの意見を出してくれると思う。

教育委員：運動部を主に話をしていると思うが、文化部やマイナーな部活についても検討してもらいたい。

教育長：新中学校に向けて部活動関係については色々と想定しながら動いてはいるが、予想以上に世の中の部活動の変化の動きが早く進んでいる。国としては、とにかく土日の部活動は地域への移行や連携を進めましょうという方針。しかし現実には指導者を平日や休日に確保できない地域がほとんどである。企業が多い市町など、外部機関に恵まれている地域は移行がスムーズに進んでいくとは思う。部活動指導員という制度もあるが、ケガをした時の対応や大会役員としての役割、子供たちの引率まで行くとすると、ハードルが高いようだ。その点も含めて伊豆市としての部活動の形をお互いに知恵を出し合い、話し合いを進めていきたい。

上記意見交換の後、特に異議がなく、承認された。

5 報告・連絡事項

<社会教育課から>

社会教育課 12 月行事予定について

- ・社会教育課長より、12月の行事予定について説明する。

6. 意見交換

- ・11月23日に開催した青少年健全育成大会での青少年の主張の発表内容の感想や伊豆っ子宣言の具現化等について、意見交換を行った。

7. その他

- ・特になし。

8. 次回教育委員会

- ・次回 令和5年12月20日（水）9時00分 教育委員会室

9. 閉 会 （鈴木教育長）